

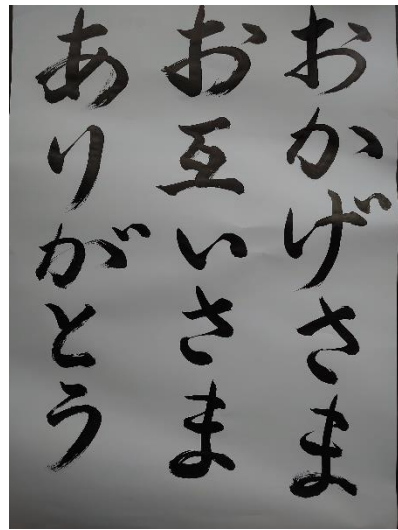
慶念寺々報

つながり

慶念寺の掲示板

慶念寺の掲示板の言葉。ブログをご覧の方は、毎月解説を書いておりますので、ご覧いただいているかと存じます。

しかし、インターネットをなさらない方もいらっしゃると思いますので、毎月の寺報にも慶念寺の掲示板の言葉について書いております。今回は第十三弾です。



「おかげさま お互いさま ありがとう」

私が学生の頃、大阪のお寺の先生が「もうかりまつか？と聞かれたらどう応えますか？」とお話してくれました。私の頭にパツと浮かんだのは「ボチボチでんなあ」でした。皆さんはいかがでしょう。

先生はこの後「これはもともと『おかげさ

んで』と応えていたんですよ」と教えてくれました。どうやら、テレビの番組で「ボチボチでんなあ」と言ったことが定着してしまったそうです。この話を聞いてから、私も「おかげさま」を

意識するようになりました。

大人になってから、多くの「おかげさま」を感じます。子ども達と外を歩いている時も、「こうやって私も見守られていたんだな」そう思うことも多いです。

そして、食事を残そうとする子ども達に説明をしている時なども「この食事が私の身に届くまで、沢山のご縁や思いがあるんだな」と、自分が気づくこともしばしばです。

「私がやった」「私が頑張った」そう自信を持つことも大切だと思います。しかし、「私が」という思いにとらわれてしまうと、

いつしか独りよがりになり、知らず知らずのうちに相手を傷つけるようになってしまいます。そうではなく、沢山の「おかげさま」に育まれ、自分も「お互いさま」と自分も誰かの助けになることが出来る。「私が頑張った」と思うなかで、おかげさまで今の自分があると思う時、周囲の見え方が変わります。

「人に迷惑をかけないように」というよりも、「お互いさま」と助け合った方がいいですよ。

そうして過ごしていく中で「ありがとう」と感謝の思いが湧き上がってくるのだと思います。「有難う」滅多にない事をさせていた

だいている。そう思えることは何よりも尊い



ことだと思えます。

私が阿弥陀様の教えにであうことが出来たのも、沢山のご縁に育まれ、先人たちのおかげさまに育まれ、阿弥陀様の「必ず救う」の呼び声に育まれたからこそ、今こうして手を合わせているんだと感じます。沢山のおかげさまを通して、今ご縁でつながれた私たちがいる。

不安ではなく、安心の中で自分以外の力を頼もしく感じる事が出来た時、見えてくる世界があるのだと実感しています。

第9回公開講座の会場が

決まりました！



前回の寺報で、皆様にご報告した通り、公開講座が行える会場の心当たりが無いかお伺いをいたしました。それに際して、沢山のアドバイスを、ご助言を賜り、誠に有難うございます。頂いたアドバイスを基に、会場を探してみました。残念ながら、公共機関の会場や多摩区内の会場は見つかりませんでした。

しかしこの度、ご厚意によりセレモニア北

部支社様にて開催出来ることになりました！

高津区になります。津田山駅北口から徒歩三〇秒の好立地です。次回は十一月十八日

(金) 十四時から予定しています。近くなりましたら募集を開始いたしますので、ぜひ

今のうちからご予約ください。

フリーペーパー「ののたま」 法話を執筆いたしました!



住職の友人が発行しているフリーペーパー「ののたま」にて、法語掲示板のコーナーに原稿を執筆させていただきました。

「もつと手に取りやすいように」「仏教に興味の薄い人でも読みたくなるように」といふ思いで作られており、ポップな見た目とは裏腹に、内容がとても充実していて、学べるコンテンツから、ほっと心が軽くなる法話まで盛りだくさんです。読んでみたい方は、ぜひ慶念寺にてお声がけください。

発送作業手伝いのお願い

来月も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

慶念寺寺報案内発送作業

日時：令和四年十月二十九日 (土)
十四時から

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

なるべく短時間で終わる予定でありますので、お手伝いいただける方は、電話やメールなどでご連絡ください。ご連絡、心よりお待ちしております。終了後、ご希望の方は駅までお送りいたします。お話しながら楽しく作業しましょう。ご連絡お待ちしております!



仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。

ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、感染拡大防止のための暫定的な処置として、オンラインを利用してのご法事も行っております。お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

お手紙下さい

おうちにあまつている便せんやハガキ、切手などがありましたら、是非慶念寺にお手紙をください。住職や坊主がお返事をいたします。最近では、お手紙をいただくことも増え、本当に嬉しく思っております。日常の事、ご相談などなど。是非お寄せ下さい。

次回の法話会は

十月十六日 (日) 十四時から慶念寺本堂にて

定例法話会を行います。皆様のお参り、心よりお待ちしております。

編集後記

お盆が終わって、ホッと一段落。慶念寺にはお墓が無いので、お彼岸はそこまで忙しくはありません。この期間を使って、寺務作業や新たな催しの企画を練っていこうと企んでいます。浄土真宗を気軽に学べる入門講座をやってみたいと考えています。いつから始めようかしらん。

そして、前回の寺報にてお声がけをした公開講座の会場の事や、花壇のお手入れに関して皆様から反応をいただけたのがとても嬉しかったです。公開講座に関しては、本文中に乗せた通り、少し離れた会場にはありませんが、開催の手筈が整いました。花壇に関しては、もう少し涼しくなったら草取りから初めて、花壇づくりに関してはまた考えていこうと思います。感染者数も落ち着いてきたので、他にもいろいろ企んでおります。

浄土真宗本願寺派 築地本願寺

川崎多摩布教所 慶念寺

〒214-0012
川崎市多摩区中野島 4-24-2-5
電話：044-819-5482
FAX：044-819-5538
Email：mail@kyounenji.com

ホームページ URL
<https://kyounenji.com/>



慶念寺ホームページ QR コード

